

会報100号になりました

長い間、会報の制作に携わっていただいた方たちです。

田中 洋子さん

30年も過ぎたなんて！今や浦島太郎のような気分です。いつも楽しく仕事をさせていただきました。お蔭さまで介護のことも少し知れたり、インタビューなどを通していろんな人たちと出会い、その方の人生をほんの少し垣間見ることができたことも貴重な経験です。数人の人たちが蒔いた種が周りのたくさんの人々に支えられ、りんりんという組織が大きく成長する姿を遠くから見てきました。更に地域に貢献できるよう祈っております。

中野富恵子さん

20年表彰を受けてびっくり！髪が白くなるわけです。運転免許だけでなく、何か他にも免許が欲しくて取得したのが、ヘルパーの資格でした。戦艦大和の生き残りという利用者さんと長々と話して“年寄りヘルパー”的存在価値を認めてもらえたのも思い出。勧められて会報の作成にも携わり、文を書くことが大好きな私には、嬉しい仕事をさせていただきました。

榎原 知子さん

事務局の清水さんから招集がかかると、富恵子さん、洋子さんと4人で集まり会報の編集に携わってきました。とはいえる記事に関しては、文才豊かな二人の先輩に任せれば安心で私はずっと頼りっぱなしでした。後輩なのに少々言葉遣いの悪い私を笑って受け止めてくれたお二人に感謝です。届託のない楽しい時間はこんなにも短く感じるものかと懐かしく振り返ります。

清水奈穂美さん

何もわからないまま会報の担当になり20年たちました。当初はよく“こんにちは”のインタビューにも同行させてもらい、たくさんの方たちのお話を聞けて楽しかったです。

言葉の使い方・文章の言い回しなど、優秀な3人の編集の方たちのおかげで何とか100号まで作れたと感謝しています。

NO.100

令和6年(2024)7月

発行／特定非営利活動法人りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
<https://rinrin.or.jp/> E-mail npo@rinrin.or.jp



特定非営利活動法人りんりん



ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援がりんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

鈴木 優子 寺本由美子 野田 史子 水野 敏子
Wave-Lovers(ウェーブ・ラヴァーズ) 杉本登喜江
みさわ精肉店 半田市社会福祉協議会フードバンク (敬称略)

令和6年度賛助会員

市川 幸夫 加藤あづさ 川井 法子 河島 理世 木村 静子
久米 基温 小林 敏子 楠原 幸作 楠原 季子 楠原 初美
榎原 裕子 下村 裕子 田井謙一郎 寺本由美子 新美恵美子
橋口まり子 福田 悅子 藤松 早苗 藤本 哲史 村上眞喜子
森 邦弘 山田 康恵 (敬称略)

りんりんのできごと

りんごクラブ

4月 駄菓子屋・みんなでランチ
5月 駄菓子屋
6月 駄菓子屋

☆やなべっこ食堂(子ども食堂 毎月第一日曜日)

4月 おにぎりまつり(おにぎり・みそ汁) 39名
5月 岩滑お助け隊炊き出し(カレーライス・おにぎり) 72名
6月 スタミナ丼 71名

☆やなべ小町(毎月第三土曜日)

4月 端切れ輪つかでコースター 13名
5月 リボンフラワー・端切れ輪つかでコースター 13名
6月 リボンフラワー作り・組み紐ストラップ 9名



～ヘルパー研修会～

4月 自宅で出来るフットケア 26名
5月 倫理と法令遵守 28名
6月 BCP(事業継続計画) 28名

多世代交流事業

	4月	5月	6月
生き活きサロン	68名	96名	107名
さをり織り	36名	29名	27名
絵 手 紙	8名	休み	10名

(R6/6月末現在)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合 計
23名	37名	75名	135名

(R6/6月末現在)

～りんりん30周年～

令和6年度総会を5月26日に無事に終えましたことを報告させていただきます。

総会では久世半田市長よりご挨拶を受け、行政とパートナーシップを組んで一緒にまちづくりの活動を継続していくことへのエールを頂戴しました。

りんりんは平成6年5月に市民活動団体として発足し、30年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様、利用者様、地域、行政等の皆様のおかげと感謝申し上げます。

総会二部では、長年継続してりんりんに携わってくださった方々への感謝の会を開催し、これまでの思い出を語って頂きました。また市外に居住されている会員さんご夫婦の所にも伺い感謝状をお渡しすることができました。お二人とも涙を流して喜んでください本当に良かったと思いました。

5月27日にサポートちたの総会がありその後、社会福祉法人新城福祉会理事長・長坂宏氏の講演をお聞きしました。長坂氏は、「支える人を支えるまちを創る、福祉従事者がやりがいを持って働き続けることができるまちづくり条例(新城市)の意義・展望」(風媒社)を共同で出版された、条例作成にもかかわっていた方です。条例を作成するにあたり当時の市長が「『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』の本から、10年後20年後までに残る職業トップ25と残る仕事の共通点を探してみるとコミュニケーション能力や理解力を求められる仕事や介護のような柔軟な判断力が求められる肉体労働が多い。AIには肩代わりできなさそうな仕事は高度な読解力と常識、加えて人間らしい柔軟な判断を要求される分野」と話されたそうです。条例作成にはたくさんのご苦労があつたことと察していますが、首長の強い思いとそれを支える人たちの共通の思いがなければできなかつたことでしょう。

りんりんにとつても山あり谷ありの30年でしたが、地主様をはじめご支援いただいた方々のおかげで継続することができています。「福祉のまちづくり」から「福祉は、まちづくりとなるような活動ができるよう努力していきますのでご支援の程よろしくお願ひいたします。

理事長 渡邊 千恵

※ AI vs. 教科書が読めない子どもたち 新井紀子著

りんりん総会

5月26日(日)令和6年度りんりん総会が開催されました。

まず渡邊理事長の挨拶。続いて半田市長 久世孝宏氏の挨拶、岩滑区長 寺尾隆宏氏、半田市議 渡辺昭司氏、加藤美幸氏、麻生七海氏のご挨拶を頂きました。

総会終了後はりんりん勤続20年・10年の表彰を行い、金一封と季節の花の鉢植えが贈られました。その後、りんりん30周年記念のイラストコンテスト優秀者の発表と、賞金の授与をしました。

第二部感謝の会では、りんりんがお世話になった方々や長年ボランティアとして貢献された方々に表彰状の授与式も行われました。

勤続20年表彰

永島喜美子さん (りんごクラブ)

訪問介護からスタートして、放課後等デイサービス、学童保育へ異動しました。今まで続けてこられたのもりんりんの皆さんに支えられたお陰の20年だと思います。これからも健康に注意しながら頑張って続けていきたいです。

勤続10年表彰

岡崎 詠子さん (デイサービス)

デイサービスで働いて10年、これまで沢山の利用者さんと出会いました。以前は“介護をする”ということに必死になっていて、周りが見えてないこともたくさんあったように思います。“自分らしさ”“自分の在り方”を大切に、もっと利用者さんに寄り添えるのではないかと思い、1日の時間をより嬉しいものに出来たらいいなと考えるようになりました。とはいえ、まだ試行錯誤。利用者さんに助けられながら、楽しみや喜びを見つけてこれからも過ごしていきたいと思います。



総会の様子



永島さん、岡崎さん



感謝の会で表彰された方々



後列左から下村さん、榎原初美さん、橋口さん、榎原知子さん
前列左から木村さん、村上さん、渡邊代表、中野さん、田中さん

長い間、りんりんを支えて頂き本当にありがとうございました。
これからもりんりんをよろしくお願ひ致します。

りんりん30周年記念 Tシャツデザイン決定!

りんりん30周年記念にTシャツのイラストを募集しました。沢山の応募があり、ありがとうございました。投票で10作品が入選し、その中から倉田夏帆さんのイラストが最優秀になりました。総会に参加された方たちに30周年記念Tシャツを配りました。



新しく3名の方が りんりん理事になりました

榎原 友恵さん

多くの方々の支えと、りんりんの温かな環境に育てていただけております。これからもりんりんの一員として、微力ではございますがお役に立てたら幸いです。よろしくお願ひ致します。

榎原 真紀さん

こんな私でもなにか役に立てるのかな。そう思いながら27年の月日が経ちました。りんりんで出会えたすべての人が私にとっての宝物です。周りの方たちに支えられ、これまで続けてこられました。感謝の気持ちを忘れずに、微力ではありますが恩返しをしていきたいと思います。

宇佐見千寿さん

理事を拝命いたしました。思ってもいなかつた大役であり、責任の重さに身の引き締まる思いです。至らぬ点もございますが微力ながら力を尽くしていきたいと思います。

各部門 担当者より

榎原 友恵

訪問介護

ご利用者の体調や環境の変化に伴う流動的なご希望などにもお応えできるように支援させていただきます。また、研修会にも積極的に参加し、個々の成長に繋がるように努めて参ります。

榎原 友恵

たすけあい

公的な制度では対応できない買い物や入院中の洗濯代行などの細やかなお手伝いを継続していきます。住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるように支援させていただきます。

澤田ゆかり

居宅介護支援

介護を取り巻く環境が変化する中、住み慣れた地域でその人らしい生活がおくれるよう支援していきます。

地域の相談窓口としても頼りにしてもらえるよう努めます。

二村ひとみ

障がい支援

日常生活や社会生活などで、ご利用者の意志が反映された生活を送ることが可能になるよう、ご本人・ご家族に寄り添いゆっくりと支援を進めていきます。ヘルパーのスキルアップの為の情報共有や研修会への参加、実習などにも力をいれてていきます。

島 真美子

デイサービス（5時間）

すべてのご利用者にそれぞれ役割があり、スタッフが寄り添い安心して過ごしていただける居場所づくりに努めます。また、看護スタッフも4名となり、今まで以上にきめ細やかなケアにより日常生活が送れるよう支援していきたいと思います。

宇佐見千寿

デイサービス（4時間）

部屋が広くなったので、いろいろなイベントができるようになりました。外部ボランティアも受け入れ、ご利用者にさらに楽しんでいただけるよう努めます。日々の活動も日常生活動作の向上につながるよう支援していきます。

永島喜美子

りんごクラブ（放課後児童クラブ）

4月に1年生19名が加わり、今までになくにぎやかになりました。運動場で上級生と活発に遊ぶ子、部屋で手芸を楽しむ子など、それぞれに楽しく過ごしています。これからも安心して遊べる「秘密基地」のような、わくわくできる学童を目指します。